

地域密着型施設を目指して

～地域での信頼獲得に向けた取り組み

地域力を高める地域活性化のために私たち社会福祉法人に何ができるか～

施設内に設けられた地域交流スペースを利用いただいたり、施設行事へ招待したりと、施設を開放する「招く」ことで地域住民との交流を図ってきた。しかし、それでは限界があるとの考えから、積極的に地域に「出かける」ことを始めた。地域行事に参加・協力をしていくことで、より深く地域住民との交流を持つことが出来、結果、施設の存在を今まで以上に理解していただけ、気軽に様々なことを相談していただけるようになった。

社会福祉法人 **和光会** 〒501-0104 岐阜市寺田7丁目95番地
TEL : 058-255-3030 / FAX : 058-255-3033

◆ 法人の概要

法人設立年：平成10年

経営施設、事業（数）：8施設

経営施設、事業（種別）：

特別養護老人ホーム、ケアハウス、デイサービス、グループホーム、短期入所専用施設、障害福祉サービス生活介護事業所、居宅介護支援事業所、保育園…各1施設

◆ 法人の理念・経営方針

生涯支援サービスの提供

私たちは、地域のみなさまが生涯を通じ、安心して暮らせる健康的な社会を実現するため、子育て・保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供します。

個人の尊重と共感

私たちは、一人ひとりの思いを尊重・共感し、生きる能力を育み、生きがいのある人生を送るため、支援を行います。

継続的改善とたゆまぬ発展

私たちは、意欲と知恵と工夫により、働きやすい環境と教育の機会を進め、サービスの継続的改善と新たな開発により、たゆまぬ発展をめざします。

◆ 実施施設の概要

施設名：

ナーシングケア寺田、アミティー寺田、ロイヤルコート寺田、ジョイフル寺田、ファミリーケア本巣、ファミリーケア北方、ケアプランセンター和光、沖ノ橋保育園

施設種別：

ナーシングケア寺田…110名、アミティー寺田…20名、ロイヤルコート寺田…50名、ジョイフル寺田…23名、ファミリーケア北方…27名、ファミリーケア本巣…20名、沖ノ橋保育園…100名

活動開始年：平成11年

活動の頻度・時間：

活動の対象者：

活動実施の背景、実施にいたった理由

和光会は、開設から「地域密着型」を合い言葉に地域に根ざした施設運営を目指してきた。当初は施設内に設けられた地域交流スペースを地元の皆様の会合に使用していただくことや、施設行事・日常のボランティアとして参加していただくなど、施設を開放する「招く」ことでの交流を持つことから始めた。

しかし、招くことだけでは限界があり、更なる方法が必要になってきた。地域の信頼を獲得し、本来の意味での地域に根ざした施設運営には、我々の施設自体が地域の一員になり、同じ目線で地域のことを考えることが必要であると考えた。そのために、こちらから積極的に地域に出て行くことが必要であるとの意見になった。地域行事（祭いこまい中山道河渡宿・白山校区夏祭り・ゴミゼロ運動など）に参加し、「出かける」ことによる交流を持つことを始めた

実施内容

5月・ごみゼロ運動 毎年5月の最終日曜日に地元自治会行事であるごみ拾い活動に参加する。

・寺田ガーデン祭開催

法人施設敷地内（特別養護老人ホーム・ケアハウス・隣接の介護老人保健施設・病院）を開放し、舞台イベントや模擬店、作品作り体験やりハビリ体験、健康チェックなど地元ボランティア130名、イベント出演者100名、職員120名で作り上げる地元住民参加型イベントで毎年2,000人が楽しめる。

7月・岐阜市内中心部岐阜駅の北東地区、白山校区自治連合会・“響” 明るい白山まちづくりの会主催の夏祭り「響白山夏祭り」のステージイベントでのダンス披露。60名程度のスタッフが趣向を凝らした創作ダンスを踊り会場を盛り上げる。毎年恒例となり来場者の楽しみの一つとなっている。

・施設所在地の西隣、岐阜県瑞穂市の本巣中央通発展会に入会し、主に会主催のサタウン夏祭り（7月の第

4 水曜木曜に開催）には2日間でスタッフ120名を動員し模擬店や郡上踊りへの参加、ステージイベントでのダンス披露を行っている。（ダンスは白山夏祭りと同様のもの）

8月・寺田地区盆踊り大会「寺田の夏祭り」

5年前から、地元自治連合会長の「寺田で育った子供たちがお爺さんお婆さんや家族に連れられて踊った思い出を」との意見を基に、久しく途絶えていた地元の盆踊り大会を、施設の駐車場で開催することにより復活した。毎年夏の恒例行事となっている。

10月・祭いこまい中仙道河渡宿

毎年10月の最終日曜日に施設が所在する合渡校区の中山道河渡宿界隈で繰り広げられる8,000人規模の地元の祭を法人として協力している。企画の段階から職員が参加し、当日は100名のスタッフが時代行列や舞台イベント、祭来客者のシャトルバスの運行などを行っている。

11月・ごみゼロ運動参加

毎年11月の第3日曜日に地元自治会行事であるごみ拾い活動に参加する。

その他、毎月第2第4金曜日13:00から30分間施設周りのごみ拾いを実施

化していきたい。そのためには、活動を通して何が問題になっていて、地域のニーズは何か、そして社会福祉法人としてどのように支援していくことがいいのかを考え行動していくことが必要である。福祉現場での人材不足や介護報酬減に伴う経営の厳しい中、平行して実施していかなければならない地域活動を今後も継続していくためには、活動の意義を地域の皆様と再確認しながら、より効果的に実施できる方法を考える必要がある。



活動効果

活動を行う中で、地域の方々と私たち法人との距離がなくなり、連携が取りやすくなった。以前、出て行く活動を始めたころ、あるボランティアさんから「和光会さんもやっと出てきてくれるようになったね」との言葉をいただいた。「招く」ことではできなかった交流が行えるようになった中で、施設の存在を今まで以上に理解していただき、気軽に相談していただけるようになった。それは、介護や施設利用の相談だけでなく、市民運動会や地元イベントでの物品の借用、敬老会での送迎依頼など、事があるたびに声をかけてもらえ、「地域の生の声」が聞けるようになった。

また、職員としては、年間を通して祭やイベントに関わっていくに当たり、職員同士の連携も強化され、職場が明るく活性化することとなった。

今後の課題

イベントや行事への参加に終始するのではなく、更なる地域活動を通じて、地域福祉の力を強

